

平成29年度決算に係る

定期監査調書

平成30年7月

畜産試験場

目 次

1	前年度指摘事項等に対する措置等	1	頁
	(1) 指摘事項	1	頁
	(2) 監査意見	1	頁
2	前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項(口頭指摘を含む。)に対する処理状況	1	頁
3	組織及び業務調べ	1	頁
4	職員の定員、現員調べ	1	頁
5	役付職員の調べ	1	頁
6	主な事業に関する調べ	2	頁
7	収入証紙取扱額調べ	4	頁
8	収入事務処理状況調べ	4	頁
	(1) 分担金及び負担金	4	頁
	(2) 使用料	4	頁
	(3) 手数料	4	頁
	(4) 財産収入	5	頁
	(5) 諸収入	5	頁
	(6) 現金の取扱状況	6	頁
9	収入未済額調べ	7	頁
10	未収金回収促進のための取り組み状況調べ	7	頁
11	不納欠損額調べ	7	頁
12	負担金、補助金、交付金及び委託料支出状況調べ	7	頁
	(1) 負担金	7	頁
	(2) 補助金	7	頁
	(3) 交付金	7	頁
	(4) 委託料	8	頁
13	工事請負費調べ	9	頁
14	財産に関する調べ	9	頁
	(1) 公有財産	9	頁
	(2) 金券類の受払状況	11	頁
15	財産の貸付及び使用許可調べ	12	頁
	(1) 土地及び建物	12	頁
	(2) 物品	13	頁
16	借受不動産明細調べ	13	頁
17	職員住宅及び職員駐車場の管理状況調べ	14	頁
	(1) 職員住宅	14	頁
	(2) 職員駐車場	14	頁
18	寄附物件の受納状況調べ	15	頁
19	備品の処分状況調べ	15	頁
20	現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ	17	頁
	(1) 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ	17	頁
	(2) 物品の照合	17	頁
21	事業別予算執行状況調べ	18	頁
22	農業機械の管理状況	18	頁
23	生産物(品)に関する調べ	19	頁
24	試験研究調査事業別実施状況調べ	20	頁
○	意見・要望等	25	頁

1 前年度指摘事項等に対する措置等

- (1) 指摘事項 該当なし
 (2) 監査意見 該当なし

2 前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項(口頭指摘を含む。)に対する処理状況

該当なし

3 組織及び業務調べ

課名	係(担当)名	課の主な所掌事務
畜産試験場	総務担当	○庁舎の管理、運営に関する事。
	肉用牛研究室	○大家畜の飼養、繁殖・育成及び肥育技術に関する事。 ○大家畜の生物工学を用いた改良増殖に関する事。 ○大家畜の経営技術の改善に関する事。
	育種改良研究室	○和牛種雄牛の造成及び凍結精液の作成配布に関する事。 ○和牛の遺伝子解析と育種を用いた改良増殖に関する事。 ○牛肉の肉質向上に関する事。
	酪農・飼料研究室	○乳牛の飼養管理技術の確立に関する事。 ○飼料作物及び牧草の栽培調製利用技術に関する事。 ○飼料の分析に関する事。

4 職員の定員、現員調べ

(平成30年4月1日現在)

種別 区分	事務職員		技術職員		現業職員		計		備考
	当該年度	29.4.1現在	当該年度	29.4.1現在	当該年度	29.4.1現在	当該年度	29.4.1現在	
定員	1	1	16	15	5	7	22	23	
現員	() 1	() 1	(2) 16	() 15	() 5	() 7	(2) 22	() 23	育休2名
過不足(△)	0	0	0	0	0	0	0	0	
臨時職員	0	0	0	0	0	0	0	0	
非常勤職員	3	3	3	3	8	8	14	14	事務3名、畜産技術員9名(うち研究補助3名、飼育管理補助6名)、警備員2名

5 役付職員の調べ

(平成30年7月1日現在)

職名	氏名	在職期間		備考
		年	月	
場長	田中 成彦	1	3	
課長補佐(総務担当)	松本 直樹	1	3	出納員
室長(肉用牛研究室)	高取 等	1	3	継続勤務期間:6年3月
室長(育種改良研究室)	岩尾 健	1	3	
室長(酪農・飼料研究室)	池本 千恵美	0	3	

6 主な事業に関する調べ

(単位：千円)

事業名	決算額	財源内訳		
		国庫支出金	その他	一般財源
優良遺伝子を活用した新鳥取和牛の創造	4,324	1,662	1,000	1,662
鳥取元気プロジェクト	(2) 鳥取を元気に／元気な農業に向けて農業活力増進プランを実行			
元気づくり総合戦略	1 豊かな自然でのびのび鳥取らしく生きる ～鳥取+ism～ (2) 農林水産業 (2) 農林水産業の活力増進			

(概要)

ア 目的及び事業の実施状況

(ア) 目的

市場価値の高い「新鳥取和牛」を創り出すために、産肉性と種牛性に関わる優良遺伝子を探索し、種雄候補牛や優良雌牛の選抜に活用して、優秀な種雄牛の造成を図る。

(イ) 事業の実施状況

(1) ゲノム育種価算出と精度検証（家畜改良センターとの共同研究）

- ・今年度は、482頭の肥育牛サンプルのSNP解析を実施（昨年までに1,880頭）した。
- ・枝肉6形質（枝肉重量、脂肪交雑等）について、17,125頭（他県データ含む）のSNPデータを用いゲノム育種価予測式を算出（オレイン酸は4,075頭から予測式を算出）した。
- ・上記を用いて、種雄牛、種雄候補牛、繁殖雌牛合わせて286頭のゲノム育種価を算出した。

(2) ゲノム育種価による受精卵段階での産肉能力推定（全農ET研究所との共同研究）

- ・平成25年度から共同研究をスタートしており、平成29年度に当场が抽出した1,000頭の肥育牛のDNAも合わせ、全農ET研究所が行ったSNP解析は5,860頭（平成25年～）となった。

(3) 国産家畜ゲノム育種価予測計算プログラム開発への協力（京都大学との共同研究）

- ・本県がSNPデータを提供し、京都大学が2カ年かけて、3種類の育種価計算方法（BLUP、ssGBLUPとGBLUP）に対応出来るmpGBLUPプログラムを開発した。

【用語解説】

ゲノム育種価、SNP：遺伝子（ゲノム）上に多数存在する「遺伝子型の違い」（SNP）を検査することで、牛個体ごとの産肉能力を推定し数値化したもの。

イ 平成29年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点

- ・おいしさに関係する牛肉の水分含量とグリコーゲンのデータを持つ肥育牛のSNPデータを蓄積した。
- ・家畜改良センターが行うゲノミック評価（全国評価、全国データ利用）では半年に1度の評価で時間がかかるため、鳥取県のデータのみでの評価（県評価）を独自に実施した。

ウ 成果及び効果

- ・種雄候補となる子牛5頭の導入検討に、ゲノム育種価評価データを活用した（表1）。
- ・全国評価と鳥取県評価の相関は下表のとおり高い相関を示し、有用性が確認された（表2）。
- ・これまで共同研究等で行った成果（2課題）を、平成30年3月の日本畜産学会にて発表した。

表1 種雄候補となる子牛のゲノム育種価評価

牛名	父	評価（脂肪交雑）
百合85の3	百合白清2	H
岩伏森	高森	C
雷神山	高森	C
岸小町88	美穂国	B
菊花久	秀菊安	B

※評価の高いものから、H、A、B、Cの順に標記

表2 全国評価と鳥取県評価との相関

形質	相関係数
枝肉重量	0.938
ロース芯面積	0.878
バラ厚	0.909
皮下脂肪厚	0.852
推定歩留	0.872
脂肪交雑	0.922

エ 課題

- ・遺伝情報の発現の可否も考慮したゲノム育種価予測式を検討し、評価の精度向上を目指す。
- ・産肉形質以外のゲノム育種価の活用を検討する（牛肉のおいしさ、繁殖性等）。

(単位：千円)

事業名	決算額	財源内訳		
		国庫支出金	その他	一般財源
牛の精液供給事業	13,459		265	13,194
鳥取元気プロジェクト	(2) 鳥取を元気に／元気な農業に向けて農業活力増進プランを実行			
元気づくり総合戦略	1 豊かな自然でのびのび鳥取らしく生きる ～鳥取+ism～ (2) 農林水産業 (2) 農林水産業の活力増進			

(概要)

ア 目的及び事業の実施状況

(ア) 目的

優秀な種雄牛や種雄候補牛の人工授精用凍結精液を計画的に生産・保管し、農家ニーズに即した和牛凍結精液を安定的に供給する。

(イ) 事業の実施状況

(1) 種雄牛及び種雄候補牛の飼養管理の実施

- ・後代検定を終了した種雄候補牛2頭のうち、検定成績が優れていた「礼美茂」を種雄牛として選抜。当試験場で繋養している種雄牛は8頭、種雄候補牛は16頭となった。

【用語解説】後代検定とは、種雄候補牛を父に持つ子牛（後代牛）を15頭以上肥育して、その枝肉成績から父牛（種雄候補牛）の産肉能力を調査すること。

(2) 人工授精用凍結精液の生産、保管及び供給

- ・優秀な種雄牛や種雄候補牛の凍結精液を計画的に生産し、農家ニーズに即した供給を行った。
- ・県内外に凍結精液を販売し、その収入は鳥取県和牛振興戦略基金に積み立てられた（平成27年度から実施）。

イ 平成29年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点

- ・凍結精液の安定生産や種雄牛の飼養管理技術向上のために、（一社）家畜改良事業団等へ視察を行い、採精方法や飼養管理等の改善を試みた。
- ・県外からの精液の要望状況や県外販売した精液の品質評価（受胎率等）と精液利用状況を把握するため、県外調査を実施した。
- ・第11回全国和牛能力共進会において、「鳥取県種雄牛案内」3,000部を配布し、県種雄牛のPRを行った。
- ・種雄牛を有効活用するために、家畜改良事業団に「礼美茂」と「勝茂久」の貸付を行った。

ウ 成果

- ・凍結精液の生産本数 53,453本（前年比130.2%）
- ・凍結精液の配布本数 30,726本（前年比122.2%）
- ・凍結精液の販売額 204,069,240円（前年比110.0%）

	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
生産本数（本）	15,636	19,459	30,528	39,177	41,070	53,453
配布本数（本）	3,326	4,871	14,754	8,567	25,146	30,726
販売額（千円）	4,361	3,966	11,618	7,655	185,578	204,069

エ 課題

- ・県内外からの需要が急増しており、需要に見合った計画的な凍結精液の生産が必要である。
- ・高能力種雄牛の管理は繊細かつ高度な技術が必要であり、技術の習得には長い年月が必要となる。安全に業務を行う上でも計画的かつ早急な技術者育成が急務である。
- ・凍結精液の製品の品質や供給安定のための専用機器の導入及び精液の生産、販売を一元的に管理するためのシステム構築が必要である。

7 収入証紙取扱額調べ

(平成30年3月31日現在)

収入科目		件数	単価(円)	証紙はりつけ額(円)	備考
目	節				
農林水産業手数料	畜産業手数料	285	700	263,900	鳥取県収入証紙条例
	飼料分析手数料	285		263,900	
	計(節)	285		263,900	
	目計	285		263,900	
	合計	285		263,900	

8 収入事務処理状況調べ

(1) 分担金及び負担金 該当なし

(2) 使用料 (平成30年5月31日現在) (単位:円)

収入科目		件数	調定金額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	根拠法令名等	備考
目	節							
行政財産使用料	電力	2	12,920	12,920	0	0	鳥取県行政財産使用料条例	
		4	20,625	20,625	0	0		
		計(節)	6	33,545	33,545	0	0	
	目計	6	33,545	33,545	0	0		
	合計	6	33,545	33,545	0	0		

(3) 手数料 (平成30年5月31日現在) (単位:円)

収入科目		件数	調定金額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	根拠法令名等	備考
目	節							
農林水産業手数料	畜産業手数料	156	261,100	261,100	0	0	鳥取県手数料徴収条例	
	飼料分析手数料	156	261,100	261,100	0	0		
	計(節)	156	261,100	261,100	0	0		
	目計	156	261,100	261,100	0	0		
	合計	156	261,100	261,100	0	0		

(4) 財産収入

(平成30年5月31日現在)
(単位:円)

目	収入科目		件数	調定金額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	根拠法令等	備考
	節	細節							
財産貸付収入	計(節)	建物・牛	3	3,246,402	3,246,402	0	0	公有財産事務取扱要項	
		目計	3	3,246,402	3,246,402	0	0		
		目計	3	3,246,402	3,246,402	0	0		
生産物売払収入	計(節)	生乳、精液、子牛等売払	42	224,292,804	224,292,804	0	0	生産品事務取扱要領(物品規則)	
		目計	42	224,292,804	224,292,804	0	0		
		目計	42	224,292,804	224,292,804	0	0		
家畜類売払収入	計(節)	牛売払	40	39,531,544	39,531,544	0	0	生産品事務取扱要領(物品規則)	
		目計	40	39,531,544	39,531,544	0	0		
		目計	40	39,531,544	39,531,544	0	0		
合計			85	267,070,750	267,070,750	0	0		

(5) 諸収入

(単位:円)

目	収入科目		件数	調定金額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	根拠法令等	備考
	節	細節							
農業・食品産業技術総合研究機構受託事業収入	計(節)	農業・食品産業技術総合研究機構受託事業収入	1	4,000,000	4,000,000	0	0		
		目計	1	4,000,000	4,000,000	0	0		
		目計	1	4,000,000	4,000,000	0	0		
公益社団法人畜産技術協会附属動物遺伝研究所受託事業収入	計(節)	公益社団法人畜産技術協会附属動物遺伝研究所受託事業収入	3	1,000,000	1,000,000	0	0		
		目計	3	1,000,000	1,000,000	0	0		
		目計	3	1,000,000	1,000,000	0	0		
近畿大学受託事業収入	計(節)	近畿大学受託事業収入	1	1,200,000	1,200,000	0	0		
		目計	1	1,200,000	1,200,000	0	0		
		目計	1	1,200,000	1,200,000	0	0		

(単位:円)

目	収入科目		件数	調定金額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	根拠法令等	備考
	節	細節							
雑入		自動販売機設置取扱手数料	4	54,239	54,239	0	0	公有財産事務取扱要項	
		自動販売機設置に係る電気代	9	36,818	36,818	0	0	公有財産事務取扱要項	
		工事仮設事務所設置に係る電気代	2	13,120	13,120	0	0		
		乳牛舎工事仮設事務所設置に係る電気、水道代	8	68,873	68,873	0	0		
		畜産試験場舗装工事仮設事務所設置に係る電気代	3	14,873	14,873	0	0		
		仙台中央食肉卸売市場要項に基づく奨励金	1	3,000	3,000	0	0		
		東京食肉市場の出荷における出荷者会費残余金	1	5,000	5,000	0	0		
		不当利得返還請求(行政財産使用料相当額)	1	10,500	10,500	0	0		
		旅費の返納(H28年度の過支給額)	4	15,780	15,780	0	0		
		非常勤職員雇用保険料	183	86,635	86,635	0	0		
		目計	216	308,838	308,838	0	0		
		合計	221	6,508,838	6,508,838	0	0		

(6) 現金の取扱状況

ア 現金取扱状況

(平成30年3月31日現在)
(単位:円)

収入科目(節)	収入済額(円)	件数(件)	備考
畜産業手数料	261,100	156	飼料分析手数料
合計	261,100	156	

イ つり銭の状況

(平成30年3月31日現在)

つり銭の有無	有	つり銭の額(円)
		20,000

- 9 収入未済額調べ 該当なし
- 10 未収金回収促進のための取り組み状況調べ 該当なし
- 11 不納欠損額調べ 該当なし
- 12 負担金、補助金、交付金及び委託料支出状況調べ

(1) 負担金 (平成30年5月31日現在)
(単位:円)

予算科目 (目)	予算額令達額	負担金の名称	支出先	負担率	支出年月 日	支出金額	支出の根拠法令 名等(規約、要領 等を含む)	備考
畜産試験場費						30,000		
新規以外のもの								
目 計						30,000		
合 計						30,000		

(2) 補助金 該当なし

(3) 交付金 該当なし

(4) 委託料

(平成30年5月31日現在)
(単位:円)

予算科目 (目)	国・ 単 位の別	委託料の名称	委託契約の 相手方	当初契約		入札等 年月日 (契約保証金 納付等年月 日)	完了 年月日	支出の状況			備考		
				予定価格	(契約年月日) 契約額			契約期間	契約形態	支出 区分		支出 年月日	金額
畜産試験場費	単県	供卵牛飼養管理・ 採卵業務委託	鳥取県畜産振興協 会	(契約年月日) 契約額	契約期間	契約形態	履行検査 年月日	概 精	H30.2.9外	7,019,287	随 契理由:業務実施の 専門技術を有する業者 が1者であるため。		
				(H29.4.1) 7,019,287	H29.4.1 ~ H30.3.31	H29.3.24 (免除)	H30.3.31						
	単県	ポータブル非破壊 簡易測定装置の開 発	九州大学	(H29.4.3) 5,000,000	H29.4.1 ~ H30.3.31	H29.4.3 (免除)	H30.4.18	概	H29.6.22外	5,000,000	新規 随契理由:業務実施の 専門技術を有する業者 が1者であるため。		
				()		随	H30.5.21						
	単県	バーンクリーナー修 繕業務委託	(有)高見商会	(H29.9.4) 2,974,968	H29.9.4 ~ H29.9.29	H29.9.1 (H29.9.4)	H29.9.22	精	H29.10.23	2,974,968	新規 随契理由:当該修繕に 対応できる業者が1者 であるため。		
				()		随	H29.9.22						
単県	自給飼料収穫作業 委託	萩原コントラクター 組合	(H29.4.11) 1,610,640	H29.4.11 ~ H29.5.31	H29.4.5 (免除)	H29.4.23	精	H29.5.12	1,610,640	随契理由:収穫作業 (刈取り〜ラッピング) に対応できる業者が1 者であるため。			
			()		随	H29.4.23							
単県	自動搾乳システム メンテナンス業務委 託	藤原産業(株)鳥取 営業所	(H29.4.1) 1,296,000	H29.4.1 ~ H30.3.31	H29.3.15 (免除)	H29.5.30外	精	H29.6.26外	1,296,000	随契理由:当該メンテ ナンスに対応できる業 者が1者であるため。			
			()		随	H29.6.5外							
上記の外、契約額が 250万円未満のもの									3,172,053				
目 計									21,072,948				
合 計									21,072,948				

13 工事請負費調べ

該当なし

14 財産に関する調べ

(1)公有財産
ア 土地

(平成30年3月31日現在)

行政・普通 財産の区分	機関名又は 施設名等	所在地	前年度末		本年度異動状況						本年度末		備考	
			面積(m ²)	価額(円)	増減別	異動日	面積(m ²)	価額(円)	増減理由	登記年月日	面積(m ²)	価額(円)		
行政財産	畜産試験場	東伯郡琴浦町松谷 字西高野606-1外	269,482.85	4,635,274	増加 減少	H H	0 0	0 0	H H	269,482.85	4,635,274	269,482.85	4,635,274	
計			269,482.85	4,635,274						269,482.85	4,635,274	269,482.85	4,635,274	
普通財産	-		0.00	0	増加 減少	H H	0 0	0 0	H H	0.00	0	0.00	0	
計			0.00	0						0.00	0	0.00	0	
合計			269,482.85	4,635,274						269,482.85	4,635,274	269,482.85	4,635,274	

イ 建物

(平成30年3月31日現在)

行政・普通 財産の区分	機関名又は 施設名等	所在地	前年度末		本年度異動状況						本年度末		備考	
			面積(m ²)	価額(円)	増減別	異動日	面積(m ²)	価額(円)	増減理由	登記年月日	面積(m ²)	価額(円)		
	事務所	東伯郡琴浦町松谷 字西高野606-1外	716.20	34,684,000	増加 減少	H H	0 0	0 0	H H	716.20	34,684,000	716.20	34,684,000	
	ボンベ庫	"	6.00	事務所に含む	増加 減少	H H	0 0	0 0	H H	6.00	事務所に含む	6.00	事務所に含む	
	直接検定牛舎	"	448.00	13,160,000	増加 減少	H H	0 0	0 0	H H	448.00	13,160,000	448.00	13,160,000	
	鋸屑置場	"	42.00	7,614,245	増加 減少	H H	0 0	0 0	H H	42.00	7,614,245	42.00	7,614,245	
	種雄牛舎	"	777.60	21,500,000	増加 減少	H H	0 0	0 0	H H	777.60	21,500,000	777.60	21,500,000	
	人工授精舎	"	235.00	5,993,906	増加 減少	H H	0 0	0 0	H H	235.00	5,993,906	235.00	5,993,906	
	管理舎	"	19.87	800,000	増加 減少	H H	0 0	0 0	H H	19.87	800,000	19.87	800,000	
	和牛育成牛舎	"	301.18	5,640,000	増加 減少	H H	0 0	0 0	H H	301.18	5,640,000	301.18	5,640,000	
	和牛繁殖牛舎	"	603.20	45,170,000	増加 減少	H H	0 0	0 0	H H	603.20	45,170,000	603.20	45,170,000	
	待機牛舎	"	216.00	3,171,088	増加 減少	H H	0 0	0 0	H H	216.00	3,171,088	216.00	3,171,088	
	秤量場	"	19.87	665,000	増加 減少	H H	0 0	0 0	H H	19.87	665,000	19.87	665,000	
	車庫	"	160.00	9,913,000	増加 減少	H H	0 0	0 0	H H	160.00	9,913,000	160.00	9,913,000	
	屋外便所	"	3.75	196,500	増加 減少	H H	0 0	0 0	H H	3.75	196,500	3.75	196,500	
	生物工学科棟(生物)	東伯郡琴浦町松谷 字西高野606-1外	220.91	23,237,229	増加 減少	H H	0 0	0 0	H H	220.91	23,237,229	220.91	23,237,229	

行政・普通 財産の区分	機関名又は 施設名等	所在地	前年度末		本年度異動状況						本年度末		備考
			面積(m ²)	価額(円)	増減別	異動日	面積(m ²)	価額(円)	増減理由	登記年月日	面積(m ²)	価額(円)	
行政財産	農機具庫	"	335.40	7,335,367	増加	H	0	0		H	335.40	7,335,367	
	供卵・受卵牛舎	"	1,023.76	40,379,000	減少	H	0	0		H	1,023.76	40,379,000	
	繋留場	"	33.92	1,000,000	増加	H	0	0		H	33.92	1,000,000	
	肥育牛舎	"	837.01	37,080,000	減少	H	0	0		H	837.01	37,080,000	
	堆肥舎	"	997.20	49,985,150	増加	H	0	0		H	997.20	49,985,150	
	隔離舎	"	262.20	16,380,000	減少	H	0	0		H	262.20	16,380,000	
	後代検定牛舎	"	1,112.30	79,191,000	増加	H	0	0		H	1,112.30	79,191,000	
	飼料保管庫	"	250.00	15,309,000	減少	H	0	0		H	250.00	15,309,000	
	乳牛舎	"	737.10	69,241,200	増加	H	0	0		H	737.10	69,241,200	
	生物工学棟(育種)	"	525.08	74,517,450	減少	H	0	0		H	525.08	74,517,450	
	旧飼料庫	"	148.76	2,150,000	増加	H	0	0		H	148.76	2,150,000	
	乳牛舎	"	0.00	0	増加	H30.3.26	1234.14	190,523,792	新築	H	1,234.14	190,523,792	
	搾乳舎	"	0.00	0	増加	H30.3.26	316.55	48,868,286	新築	H	316.55	48,868,286	
	堆肥舎	"	0.00	0	増加	H30.3.26	88.00	13,705,922	新築	H	88.00	13,705,922	
	計			10,032.31	564,313,135			1638.69	253,098,000			11,671.00	817,411,135
普通財産			0.00	0	増加						0.00	0	
			0.00	0	増加						0.00	0	
計			0.00	0			0	0			0.00	0	
合計			10,032.31	564,313,135			1638.69	253,098,000			11,671.00	817,411,135	

ウ山林 該当なし
 工動産(船舶、浮標、浮棧橋、浮ドック、航空機) 該当なし
 才物権 該当なし
 力無体財産権(特許権、著作権、商標権、実用新案権等) 該当なし
 キ有価証券 該当なし

(2) 金券類の受払状況

ア 金券の受払状況

(平成30年3月31日現在)

種 別	前年度末	本 年 度 中		本年度末	備 考
		受入額	払出額		
	円	円	円	円	
郵便切手及び郵便はがき	63,014	207,600	158,988	111,626	
収入印紙	0	0	0	0	
収入証紙	0	0	0	0	
タクシークーポン券	0	0	0	0	
鉄道バスプリペイドカード	0	0	0	0	
合 計	63,014	207,600	158,988	111,626	

イ タクシーチケットの受払状況

該当なし

15 財産の貸付け及び使用許可調べ

(1) 土地及び建物

ア 土地

(平成30年3月31日現在)

行政・普通 財産の区分	貸 付 (使用許可) 的 目 的	所 在 地	数 量 又 は 面 積	貸 付 (使用許可) 年 月 日	当 初 貸 付 (使用許可) 年 月 日	貸 付 (使用許可) 期 間	貸付(使用)料(円)		貸付(使用許可)先		備 考
							単 価	本 年 度 の 貸 付 (使用)料	住 氏 名	所 名	
行政財産	電力供給施設	東伯郡琴浦町松谷 字西高野 606	本柱 10 支線 10 支柱 2 支線柱 2	平28.3.31	昭51.4.1	平28.4.1~平33.3.31	年額 1,500 180	12,920	倉吉市駄経寺町245-6 中国電力(株)倉吉営業所	ID:17-00080896	
			電柱 6 支柱 1 支線 3	平25.3.1	昭58.4.1	平25.4.1~平30.3.31	年額 1,500	14,250	鳥取市湯所町2-258 西日本電信電話(株)鳥取支店	ID:17-00073385	
	電気通信設備	東伯郡琴浦町松谷 字西高野 606	支柱 1 支線 1	平26.3.5	平16.4.16	平26.4.1~平30.3.31	年額 1,500	3,000	鳥取市湯所町2-258 西日本電信電話(株)鳥取支店	ID:17-00122677	
			支線柱 1 支線柱支線 2	平29.7.25	H29.7.25	平29.7.25~平30.3.31	年額 1,500	3,375	鳥取市湯所町2-258 西日本電信電話(株)鳥取支店	ID:17-00096761	
計							月額・年額	33,545			
普通財産							月額・年額				
計								0			
合計								33,545			

イ 建物

(平成30年3月31日現在)

行政・普通 財産の区分	貸 付 (使用許可) 的 目 的	所 在 地	数 量 又 は 面 積	貸 付 (使用許可) 年 月 日	当 初 貸 付 (使用許可) 年 月 日	貸 付 (使用許可) 期 間	貸付(使用)料(円)		貸付(使用許可)先		備 考
							単 価	本 年 度 の 貸 付 (使用)料	住 氏 名	所 名	
行政財産	自動販売機	東伯郡琴浦町松谷 字西高野606-1	1.25㎡	平25.4.1	平19.6.29	平25.4.1~平30.3.31	年額 6,402	6,402	鳥取市緑ヶ丘2-667-14 (株)戸信		
計							月額・年額	6,402			
普通財産											
計								0			
合計								6,402			

(2) 物品

(平成30年3月31日現在)

品名	数量	規格・銘柄	貸付期間	貸付料(円)		貸付先		使用場所	貸付目的	備考
				単価	本年度の貸付料	住所	氏名			
牛	1	福増	H29.4.1 ～ H32.3.31	月額・年額 2,160,000	2,160,000	東京都江東区冬木11-17 一般社団法人 家畜改良事業団 理事長 伊地知 俊一		岡山種雄牛センター	凍結精液の生産・ 販売	
牛	1	礼美茂	H29.9.1 ～ H32.3.31	月額・年額 2,160,000	1,080,000	東京都江東区冬木11-17 一般社団法人 家畜改良事業団 理事長 伊地知 俊一		岡山種雄牛センター	凍結精液の生産・ 販売	
牛	1	勝茂久	H29.9.1 ～ H30.8.31	月額・年額 無償	0	東京都江東区冬木11-17 一般社団法人 家畜改良事業団 理事長 伊地知 俊一		岡山種雄牛センター	凍結精液の生産・ 販売	
合計					3,240,000					

該当なし

16 借受不動産明細調べ

17 職員住宅及び職員駐車場の管理状況調べ

(1) 職員住宅

ア 管理状況 該当なし

イ 異動状況 該当なし

(2) 職員駐車場

ア 管理状況

財産の区分	所在地	1区画の面積 (㎡)		貸付(使用)料(月額) (円)
		当増	当減	
行政財産	東伯郡琴浦町松谷606 畜産試験場	12.5		1,000
普通財産	該当なし			

イ 異動状況

(行政・普通財産)

月別	前月末	当月減		当月増		当月末		調定額	減免状況	収入済額	収入未済額
		人	うち減免	人	うち減免	人	うち減免				
4月	31			4	4	35	35	0			
5月	35					35	35	0			
6月	35					35	35	0			
7月	35	1	1			34	34	0			
8月	34			1	1	35	35	0			
9月	35	1	1	1	1	35	35	0			
10月	35					35	35	0	減免理由:通勤手段として 勤務先官公署への公共交通 通機関が確保できない場合 減免率:10/10		
11月	35	3	3			32	32	0			
12月	32					32	32	0			
1月	32	1	1	1	1	32	32	0			
2月	32					32	32	0			
3月	32					32	32	0			
合計								0			

18 寄附物件の受納状況調べ

該当なし

19 備品の処分状況調べ

(平成30年3月31日現在)

品名 (規格・銘柄)	数量	(保管換年月日) 取得年月日	耐用 年数 (年)	取得価格 (円)	不用決定 年月日	不用とする理由	処 分				備 考
							売却 棄却 の別	売却方法・ 棄却理由	処分 年月日	売却額・ 処分費用 (円)	
乳牛(パインバリー アイダロット シド ファイズ)	1	H24.11.1	8	68,000	H29.5.8	病畜廃用	売却	委託処理	H29.5.8	▲ 33,173	
和牛(華福増0840129985)	1	H27.9.1	8	542,000	H29.5.10	試験終了	売却	委託販売	H29.5.10	1,354,174	
和牛(福0840130042)	1	H27.10.1	8	539,000	H29.5.10	試験終了	売却	委託販売	H29.5.10	1,674,719	
和牛(大福0840130011)	1	H27.9.1	8	542,000	H29.5.10	試験終了	売却	委託販売	H29.5.22	1,371,880	
和牛(母大福1475444535)	1	H27.10.1	8	539,000	H29.5.10	試験終了	売却	委託販売	H29.5.22	1,238,400	
和牛(気高森0840130035)	1	H27.10.1	8	539,000	H29.5.31	肥育終了	売却	委託販売	H29.6.7	1,318,828	
和牛(福双葉)	1	H27.10.21	8	753,840	H29.5.31	肥育終了	売却	委託販売	H29.6.7	1,203,574	
和牛(勝閑)	1	H27.10.21	8	827,280	H29.5.31	肥育終了	売却	委託販売	H29.6.7	1,188,509	
乳牛(パインバリー アイダロット ポンチアク ファイン)	1	H22.5.1	8	58,000	H29.4.28	能力低下・繁殖障害	売却	委託販売	H29.6.8	297,000	
乳牛(パインバリー アイダロット スパイラル サルビア)	1	H27.3.24	8	72,000	H29.4.28	能力低下・繁殖障害	売却	委託販売	H29.6.8	200,880	
乳牛(パインバリー エアロフラーワー ローリン スフレ)	1	H23.1.1	8	28,000	H29.6.26	病畜廃用	売却	委託処理	H29.6.26	▲ 33,173	
和牛(林太郎)	1	H26.12.4	8	691,200	H29.6.12	淘汰	売却	委託販売	H29.6.28	67,933	
和牛(関光)	1	H27.10.21	8	720,360	H29.6.27	肥育終了	売却	委託販売	H29.7.5	957,902	
和牛(夏双葉)	1	H27.10.21	8	760,320	H29.6.27	肥育終了	売却	委託販売	H29.7.8	1,446,150	
和牛(若葉2)	1	H27.10.21	8	738,720	H29.6.27	肥育終了	売却	委託販売	H29.7.8	1,494,723	
和牛(若葉1)	1	H27.10.21	8	749,520	H29.6.27	肥育終了	売却	委託販売	H29.7.8	1,524,875	
和牛(ゆきひら1号)	1	H27.10.21	8	710,640	H29.6.27	肥育終了	売却	委託販売	H29.7.8	1,305,017	
和牛(関小雪2)	1	H27.10.21	8	766,800	H29.6.27	肥育終了	売却	委託販売	H29.7.8	1,492,421	
和牛(せきみずほ)	1	H27.10.21	8	702,000	H29.7.27	肥育終了	売却	委託販売	H29.8.5	1,048,793	
和牛(やくも62)	1	H27.10.21	8	702,000	H29.7.27	肥育終了	売却	委託販売	H29.8.5	1,386,665	
乳牛(パインバリー アイダロット ブラックストーン キャリー)	1	H25.12.1	8	72,000	H29.8.7	病畜廃用	売却	委託販売	H29.8.7	52,173	
和牛(関5双葉3)	1	H23.10.20	8	630,000	H29.10.3	選抜せず	売却	委託販売	H29.10.4	39,917	
和牛(かつら1351747125)	1	H24.2.1	8	320,000	H29.9.26	牛群更新	売却	委託販売	H29.10.19	530,280	
和牛(ななかつ1351747217)	1	H24.5.1	8	297,000	H29.9.26	牛群更新	売却	委託販売	H29.10.19	435,240	
和牛(さちなみ1381947762)	1	H24.11.1	8	311,000	H29.9.26	牛群更新	売却	委託販売	H29.10.19	421,200	

品名 (規格・銘柄)	数量	(保管換年月日) 取得年月日	耐用 年数 (年)	取得価格 (円)	不用決定 年月日	不用とする理由	処 分				備 考
							売却 の別	売却方法・ 棄却理由	処分 年月日	売却額・ 処分費用 (円)	
和牛(勝次0840130141)	1	H28.5.1	8	676,000	H29.9.13	出荷時期到来	売却	委託販売	H29.9.20	1,427,604	
和牛(百合鵬0840130189)	1	H28.5.1	8	676,000	H29.9.13	出荷時期到来	売却	委託販売	H29.9.20	1,282,926	
和牛(百合森11430060961)	1	H28.7.1	8	659,000	H29.11.20	出荷時期到来	売却	委託販売	H29.11.24	1,234,909	
和牛(高清1430060992)	1	H28.7.1	8	659,000	H29.11.20	出荷時期到来	売却	委託販売	H29.11.24	831,781	
和牛(百合森21406144763)	1	H28.8.1	8	707,000	H29.11.20	出荷時期到来	売却	委託販売	H29.11.24	878,781	
和牛(百合森41430060824)	1	H28.8.1	8	707,000	H29.11.20	出荷時期到来	売却	委託販売	H29.11.24	1,285,665	
和牛(咲也0840130127)	1	H28.4.1	8	691,000	H29.11.9	肥育終了	売却	委託販売	H29.11.9	1,735,362	
和牛(たみか1252712888)	1	H21.11.9	8	525,000	H29.12.5	牛群更新	売却	委託販売	H29.12.12	120,774	
和牛(勝美福)	1	H28.4.14	8	812,160	H29.11.24	肥育終了	売却	委託販売	H29.12.16	1,628,409	
和牛(おさゆりたか)	1	H28.4.14	8	935,280	H29.11.24	肥育終了	売却	委託販売	H29.12.16	1,397,582	
乳牛(パインバリー エアロフラーワー ブラクストン ペプシ)	1	H25.2.1	8	68,000	H29.12.19	能力低下	売却	委託販売	H29.12.20	74,701	
乳牛(パインバリー アイダロット スパイラル シルク)	1	H26.11.21	8	72,000	H29.12.19	能力低下	売却	委託販売	H29.12.20	119,703	
和牛(勇志0840130165)	1	H28.5.1	8	676,000	H29.12.28	肥育終了	売却	委託販売	H30.1.4	1,498,204	
和牛(麗美神)	1	H28.6.2	8	778,680	H29.12.28	肥育終了	売却	委託販売	H30.1.4	1,288,938	
和牛(れみはな1430060930)	1	H28.7.1	8	756,000	H30.2.1	肥育終了	売却	委託販売	H30.2.11	1,226,559	
和牛(岸小町83)	1	H28.7.22	8	965,520	H30.3.2	肥育終了	売却	委託販売	H30.3.17	1,448,393	
小計	40			23,043,320						39,465,198	
乳牛(パインバリー エアロフラーワー フロント ペギー)	1	H22.11.1	8	28,000	H29.4.28	病死	棄却	委託処理	H29.4.28	0	
乳牛(パインバリー アイダロット ロス ペツパー)	1	H24.2.1	8	34,000	H29.5.1	事故死	棄却	委託処理	H29.5.1	0	
乳牛(パインバリー アイダロット ストライカー サリー)	1	H27.9.7	8	72,000	H29.5.12	事故死	棄却	委託処理	H29.5.8	0	
乳牛(パインバリー アイダロット プリッシュユラック シャープ)	1	H26.11.21	8	72,000	H29.7.12	病死	棄却	委託処理	H29.7.11	0	
PHメーター	1	H7.3.29	5	200,000	H29.9.26	更新	棄却	更新時引取	H29.9.21	0	
カラーテレビ	1	S56.6.26	5	128,000	H29.10.14	使用不能・修理不能	棄却	委託処理	H29.11.14	▲ 3,186	
小計	6			534,000						▲ 3,186	
合計	46			23,577,320						39,462,012	

20 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ

(1) 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ

(平成30年3月31日現在)

現金、有価証券 又は物品名	数量	金額	亡失、損傷 年月日、時	同左場所	同左概要	報告 年月日	会計局の 審査結果
貨物自動車 (鳥取11 せ84-84)	1	円 2,803,500 (0)	H29.4.7 午後0時ごろ	倉吉市宮川町 の中華料理店 駐車場	駐車区画にバックで駐車しよ うとしたが、後ろに行過ぎたた め車両後部がフェンスに接触 し、車両に擦り傷が付いた。	H29.4.7	賠償責任なし
ダンプトラック (鳥取100 さ74-65)	1	5,405,347 (102,600)	H29.11.30 午前11時ごろ	畜産試験場堆 肥舎	堆肥を搬入するためバックで 堆肥舎に進入したが、真後ろ の柱に気付かず荷台の扉が 接触し損傷した。	H29.11.30	賠償責任なし
合計	2	8,208,847 (102,600)					

(2) 物品の照合

照合年月日	現物確認できなかった物品	現物が確認できなかった物品名	個 数
H29年8月7日 ～ H29年8月31日	・ 有 (無)		

2.1 事業別予算執行状況調べ

目 名 財産管理費		(平成30年3月31日現在)
事業名	事業の概要(目的、実績等)	
県有施設営繕事業	場内施設の修繕を実施	

目 名 農業総務費		(平成30年3月31日現在)
事業名	事業の概要(目的、実績等)	
先端的農林水産試験研究推進強化事業	ゲノム育種価算出のための遺伝子検査及び統計処理技術の習得に係る旅費	
農林水産部管理運営費	新採職員研修に要する経費	

目 名 畜産振興費		(平成30年3月31日現在)
事業名	事業の概要(目的、実績等)	
県優良種雄牛造成事業	優秀な種雄牛造成のための雄牛導入と現場後代検定を円滑に行う。 ・22頭の直接検定候補牛の遺伝病保有状況を調査。 ・5頭の直接検定牛を導入。(うち場内産2頭含む) ・3頭の種雄牛候補の試験種付けを延90人の授精師と延96人の農家に114頭分を依頼。	

目 名 畜産総務費		(平成30年3月31日現在)
事業名	事業の概要(目的、実績等)	
畜産課管理運営費	試験研究・ブランド化・種雄牛造成に関する打合せに要する経費、育休等職員代替非常勤職員報酬経費	

目 名 畜産試験場費		(平成30年3月31日現在)
事業名	事業の概要(目的、実績等)	
畜産試験場管理運営費	庁舎等の管理運営を行う経費	
試験研究費	試験研究課題等の16事業を実施。詳細は「6主な事業に関する調べ」及び「24試験研究調査事業別実施状況調べ」に記載。	

2.2 農業機械の管理状況

該当なし

2.3 生産物(品)に関する調べ

(平成30年3月31日現在)

生産部門	品名種類	作付面積	生産計画数量	生産数量			場内使用	処分数量				備考	
				前年度からの繰越	生産購入	計		売却	目的外使用	廃棄	数量		金額
				数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額
生乳			134,320 kg	0 kg	154,892 kg	41 kg	17,850,839 円	0 kg	円	1,443 kg	17,850,839 円	0 kg	0 kg
	精液		25,000 本	203,275 本	53,453 本	1,125 本	204,069,240 円	72 本	円	20,828 本	204,069,240 円	0 本	203,977 本
和牛受精卵			150 個	1,027 個	285 個	144 個	0 円	0 個	円	0 個	0 円	0 個	1,168 個
	小計						221,920,079 円				221,920,079 円		
粗飼料	ロール牧草	11.5 ha	300 ロール	445 ロール	188 ロール	360 ロール	0 円	0 ロール	円	130 ロール	0 円		143 ロール
	サイロコーン	3.2 ha	185,000 kg	340,103 kg	128,000 kg	145,933 kg	0 円	0 kg	円	4,950 kg	0 円		317,220 kg
小計							0 円				0 円		
家畜	和牛		31 頭	15 頭	36 頭	3 頭	1,892,160 円	0 頭	円	1 頭	1,892,160 円	19 頭	26 頭
	乳牛		15 頭	5 頭	12 頭	0 頭	502,200 円	0 頭	円	0 頭	502,200 円	5 頭	5 頭
小計			46 頭	20 頭	48 頭	3 頭	2,394,360 円	0 頭	円	0 頭	2,394,360 円	24 頭	31 頭
合計							224,314,439 円				224,314,439 円		

2.4 試験研究調査事業別実施状況調べ

(平成30年5月31日現在)

事業名	「鳥取和牛オレイン55」の増産に向けた飼料給与試験		担当室別	肉用牛研究室
実施計画期間	25年度 ～ 30年度		(予算額) 支出済額	(9,485,000円) 9,485,000円
試験研究調査の目的	試験研究調査を行う場所	試験研究調査の対象・数量・範囲	本年度の試験研究調査等の目標	試験研究調査の成果・課題
飼料給与技術の開発により「鳥取和牛オレイン55」の生産頭数増加を図る。(単、委)	畜産試験場農家	肥育牛50頭	・オレイン酸含有率の向上を目的に、飼料添加剤(モネンシン)の給与肥育試験を行う。 ・オレイン酸含有率生前診断法を確立するため、肥育中の牛の血液成分と脂肪酸組成との関連性を調査する。	(成果) ・肥育試験の実施中。試験牛の出荷は平成31年2月を予定。 ・オレイン酸含有率の生前診断のため、肥育中の牛77頭の血液を採取した。 (課題) オレイン酸含有率を向上させる決定的な方法が判明していない。

事業名	強化哺育を活用した和子牛の育成技術確立試験		担当室別	肉用牛研究室
実施計画期間	26年度 ～ 30年度		(予算額) 支出済額	(3,445,000円) 3,445,000円
試験研究調査の目的	試験研究調査を行う場所	試験研究調査の対象・数量・範囲	本年度の試験研究調査等の目標	試験研究調査の成果・課題
高タンパク・低脂肪の代用乳を多給する「強化哺育」を活用し、発育良好で筋肉質な和子牛を育成し、子牛の市場価値向上を図る。(単)	畜産試験場	子牛17頭	強化哺育での発育に与える効果を調査したところ、飼料摂取量が順調に増加しなかった個体が認められたことから、これまでの強化哺育を改良し、哺乳量及び哺乳量漸減時期を検討する。	(成果) 改良後の強化哺育でも改良前と同様の発育が得られており、どの個体の飼料摂取量も順調なことから、検証を引き続き行う。 (課題) より多くの個体を用いた検証が必要。

事業名	黒毛和種去勢肥育牛の短期肥育技術の確立		担当室別	肉用牛研究室
実施計画期間	26年度 ～ 30年度		(予算額) 支出済額	(3,217,070円) 3,217,070円
試験研究調査の目的	試験研究調査を行う場所	試験研究調査の対象・数量・範囲	本年度の試験研究調査等の目標	試験研究調査の成果・課題
全国和牛能力共進会での優秀成績獲得及び肥育コスト削減のため短期肥育技術の確立を図る。(補助)	畜産試験場	肥育牛40頭	・短い肥育期間で通常と同等の肉質重量を確保するため、飼料添加剤(モネンシン)の給与試験を実施 ・飼料添加剤(ビタミンC)給与による肉質向上効果の確認を行う。	(成果) ・モネンシンの発育向上効果は確認できなかったが、これまでの短期肥育の知見をもとに暫定マニュアルを作成した。 ・現在、ビタミンC給与試験を実施中。試験牛の出荷は平成31年2月に予定。 (課題) 試験の精度を高めるための全兄弟試験牛の確保が難しい。

事業名	飼料米を活用した鳥取和牛ブランド向上試験		担当室別	肉用牛研究室
実施計画期間	27年度 ～ 29年度		(予算額) 支出済額	(323,000円) 323,000円
試験研究調査の目的	試験研究調査を行う場所	試験研究調査の対象・数量・範囲	本年度の試験研究調査等の目標	試験研究調査の成果・課題
ソフトグレインサイレージ(SGS/膨軟化処理した粳付飼料用米のサイレージ)給与マニュアルを作成する。(単)	畜産試験場農家	肥育牛8頭	株式会社美歎牧場の委託で、SGSを黒毛和種肥育牛に給与し、発育及び枝肉形質に与える影響について調査し、給与マニュアルを作成する。	(成果) ・本試験の給与体系によるSGSの給与では、枝肉形質等への悪影響はなく、この給与体系で問題がないことが判明した。 ・本試験での給与体系をもとにマニュアルを作成し、株式会社美歎牧場に報告した。 (課題) 平成29年度に試験終了

事業名	鳥取和牛の効率的な増産と改良に向けた体外受精卵利用技術体系の構築		担当室別	肉用牛研究室
実施計画期間	平成26年度 ～ 30年度		(予算額) 支出済額	(2,335,316円) 2,332,356円
試験研究調査の目的	試験研究調査を行う場所	試験研究調査の対象・数量・範囲	本年度の試験研究調査等の目標	試験研究調査の成果・課題
和牛の増頭と改良のため、ほとんど未利用であった体外受精卵技術を体系化して普及する。(補助)	畜産試験場倉吉農業高校農家	雌牛20頭と場卵巣200検体	・と畜牛由来の体外受精卵活用のため、培養系の改良や受胎性確認をする。 ・経膈採卵による受精卵生産と実施牛の繁殖性、受胎性への影響調査。 ・和牛の一卵性双子生産に向け、経膈採卵後に体外受精や割球分離を行う手順での2卵生産と乳牛への2卵移植による受胎性確認等の調査を行う。	(成果) ・と畜牛由来卵子への体外受精後に使用する発生培地の添加剤改良で、胚盤胞発生率が有意に上昇した。 ・妊娠牛延べ14頭から経膈採卵を実施し、うち13頭の妊娠に影響がなかった。ただ、1頭流産し、その因果関係は不明。 ・経膈採卵後に体外受精や割球分離を行う手順でのペア胚発生率は49%であり、11頭中7頭で受胎を確認した。 (課題) ・乳牛を用いて2卵移植の例数を重ね、双胎分娩時の事故の有無等について検証が必要。 ・遺伝子診断用の採材および培養方法について、体内・体外胚を用いてサンプリングする細胞数、凍結保存方法の検討が必要。

事業名	優良遺伝子を用いた新鳥取和牛の創造		担当室別	育種改良研究室
実施計画期間	平成13年度～		(予算額) 支出済額	(4,333,457円) 4,324,057円
試験研究調査の目的	試験研究調査を行う場所	試験研究調査の対象・数量・範囲	本年度の試験研究調査等の目標	試験研究調査の成果・課題
試験研究調査の目的、試験研究調査の成果・課題等については、「6 主要な事業に関する調べ」に記載。				

事業名	高能力受精卵増産委託事業		担当室別	肉用牛研究室
実施計画期間	平成27年～		(予算額)	(9,012,000円)
			支出済額	9,010,487円
試験研究調査の目的	試験研究調査を行う場所	試験研究調査の対象・数量・範囲	本年度の試験研究調査等の目標	試験研究調査の成果・課題
畜産試験場で繁養する繁殖雌牛から受精卵の採取・販売を委託することにより鳥取和牛の増産を図る。 (単)	畜産試験場	供卵牛50頭。	高能力種雄牛「百合白清2」、「白鵬85の3」の受精卵の効率的生産及び県内農家への販売。	(成果) のべ採卵頭数：54頭 総正常卵数：168個(平均3.1個) 販売卵数：61個
				(課題) 農家に安定して受精卵を供給するため、採卵成績不良牛の淘汰と優良雌牛の確保といった計画的な繁殖雌牛の更新が必要。

事業名	和牛産肉能力直接検定試験		担当室別	育種改良研究室
実施計画期間	昭和54年度～		(予算額)	(2,929,000円)
			支出済額	2,522,860円
試験研究調査の目的	試験研究調査を行う場所	試験研究調査の対象・数量・範囲	本年度の試験研究調査等の目標	試験研究調査の成果・課題
和牛産肉能力直接検定 (単)	畜産試験場	黒毛和種種雄候補牛12頭	発育や体型、飼料利用効率などの項目で種雄候補牛の能力調査を実施し、種雄候補牛の一次選抜を行う。	(成果) 検定実施頭数：8頭 検定終了頭数：7頭 選抜頭数：7頭
				(課題) 優秀な種雄候補牛を確実に選抜するため、より適切な候補牛の導入時選抜や検定実施の体制を構築する。

事業名	現場後代検定試験		担当室別	育種改良研究室
実施計画期間	平成13年～		(予算額)	(36,714,000円)
			支出済額	34,054,800円
試験研究調査の目的	試験研究調査を行う場所	試験研究調査の対象・数量・範囲	本年度の試験研究調査等の目標	試験研究調査の成果・課題
優秀な種雄牛造成のための肥育試験実施 (単)	畜産試験場	1種雄牛当たり、畜産試験場10頭・肥育農家8頭を肥育試験に供する。	直接検定試験で選抜された待機種雄牛の産子を肥育し、遺伝的産肉能力を判定して、優秀な種雄牛を選抜・造成する。	(成果) 検定実施種雄牛：6頭 産子肥育頭数：121頭 検定終了種雄牛：2頭(うち1頭不合格)
				(課題) 遺伝的産肉能力を最大限発揮させるための、飼養管理技術のさらなる向上。

事業名	牛の精液供給事業		担当室別	育種改良研究室
実施計画期間	昭和53年度～		(予算額)	(13,459,000円)
			支出済額	13,458,553円
試験研究調査の目的	試験研究調査を行う場所	試験研究調査の対象・数量・範囲	本年度の試験研究調査等の目標	試験研究調査の成果・課題
試験研究調査の目的、試験研究調査の成果・課題等については、「6 主要な事業に関する調べ」に記載				

事業名	粗飼料増産のための優良品種選定試験		担当室別	酪農・飼料研究室
実施計画期間	27年度 ～29年度		(予算額)	(70,000円)
			支出済額	70,000円
試験研究調査の目的	試験研究調査を行う場所	試験研究調査の対象・数量・範囲	本年度の試験研究調査等の目標	試験研究調査の成果・課題
飼料作物を試験栽培し、県内の気候に適した優良品種を選定する。(単)	畜産試験場	イタリアンライグラス トウモロコシ	自給粗飼料の生産基盤強化と増産を目的に、牧草の優良品種を選定するための試験栽培を行う。	(成果) イタリアンライグラスでは「ゼロワン」、「ライジン」、トウモロコシでは「P2088」、「FD66-91」の3カ年の平均収量が標準品種を上回った。 (課題) 引き続き現場のニーズを反映した品種選定に努める。

事業名	飼料分析を活用した給与技術向上支援事業		担当室別	酪農・飼料研究室
実施計画期間	平成29年度		(予算額)	(2,582,000円)
			支出済額	2,569,600円
試験研究調査の目的	試験研究調査を行う場所	試験研究調査の対象・数量・範囲	本年度の試験研究調査等の目標	試験研究調査の成果・課題
飼料を分析し、自給飼料生産技術・飼料給与技術の改善を支援する。(単)	畜産試験場	飼料分析依頼件数：600件	・家畜飼料の栄養成分分析を行い、農家の飼料給与設計の基礎データとして活用してもらう。 ・家畜の生産性(牛乳・牛肉)や繁殖性に最も影響がある「飼料給与技術」の向上を図る。	(成果) 飼料分析は綿密な飼料給与設計の基礎データとして活用されている。また、高品質な自給粗飼料生産や飼料給与改善に向けた指導、助言を行った。 (課題) 引き続き、自給粗飼料の収量及び品質の向上に向けた指導、助言を行う。

事業名	粗飼料生産事業		担当室別	酪農・飼料研究室
実施計画期間	S41年度 ～ 継続実施		(予算額) 支出済額	(8,210,000円) 7,908,840円
試験研究調査の目的	試験研究調査を行う場所	試験研究調査の対象・数量・範囲	本年度の試験研究調査等の目標	試験研究調査の成果・課題
試験供試牛へ 給与する自給 粗飼料を生産 する (単)	畜産試験場 飼料畑	圃場面積 11.5ha	<p>作付け品種 春作：飼料用トウモロコシ 目標：185t 秋作：イタリアライグラス 目標：3000-L</p> <p>トウモロコシの収穫はチューブパック方式を農家委託で行う。 (チューブパック方式：直径2.4m、長さ60mのナイロン製チューブの中にトウモロコシを詰め、発酵させる方式)</p>	<p>(成果)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・収量は、トウモロコシは128t、イタリアンは1880-Lであった。 ・イタリアンについては若干早刈りとなったが、水分・品質ともに良好であり、高品質粗飼料の生産ができた。 ・トウモロコシについては、チューブパック方式は通常のバンカーサイロ方式と比較して作業行程が少ないといったメリットがあるため、作業時間は短縮された。 <p>(課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イタリアンは高品質なものが生産できているが、ロール数が少なく、収量の向上が課題。 ・トウモロコシは切断長が粗めのため、変敗による廃棄が若干見られた。

事業名	乳牛の繁殖性向上実証試験		担当室別	酪農・飼料研究室
実施計画期間	H29年度 ～ H31年度		(予算額) 支出済額	(9,923,000円) 9,923,000円
試験研究調査の目的	試験研究調査を行う場所	試験研究調査の対象・数量・範囲	本年度の試験研究調査等の目標	試験研究調査の成果・課題
乳牛の繁殖性に影響を及ぼすエンドトキシン量を把握して飼料給与改善指標を設定し、繁殖機能の正常化を図る。 (単)	畜産試験場 乳牛舎	搾乳牛 18頭	搾乳牛の血中エンドトキシン量を測定し、飼料給与内容の設定について検討する。	<p>(成果)</p> <p>搾乳牛から採取・抽出した血漿を10倍希釈したものをマイクロプレートリーダにより測定を実施した結果、血中からエンドトキシンを測定することが可能であることが確認できた。</p> <p>(課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・血中エンドトキシン量を正確に把握するための血漿の希釈倍率についてさらに検討が必要。 ・エンドトキシン濃度に応じた飼料給与内容の検討が必要。

事業名	鳥取和牛肉うまみ開発試験		担当室別	育種改良研究室
実施計画期間	平成17年度～		(予算額)	(13,763,000円)
			支出済額	13,740,535円
試験研究調査の目的	試験研究調査を行う場所	試験研究調査の対象・数量・範囲	本年度の試験研究調査等の目標	試験研究調査の成果・課題
鳥取和牛肉のブランド力アップのため、消費者や生産者が求める「うまみ」のある鳥取和牛肉生産に向けた研究を行う。(補助、単)	畜産試験場	黒毛和種肥育産子の牛肉サンプル	・黒毛和種3,348頭のロース肉について、官能評価の風味の強さや総合評価の高さと相関があるグリコーゲン含量を測定し、育種改良可能な形質となるか調査した。	<p>(成果)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・性別の違いによるグリコーゲン含量は、雌の方が高かった。 ・枝肉重量およびBMSとグリコーゲン含量との関係は、両者とも大きくなるにつれて数値が低くなる傾向が見られた。 ・グリコーゲンの遺伝率は中程度であり、育種改良可能な形質であることが示唆された。 <p style="text-align: center;">↓</p> <p>☆これらの成果は日本畜産学会で発表した。</p> <p>(課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後は、牛肉の「うまみ」に最も関係のある香り成分を特定するため、ガスクロマトグラフ質量分析計による分析方法を確立する必要がある。 ・味覚センサーを開発した九州大学との共同研究により、牛肉の「うまみ」に関与するグリコーゲン含量の非破壊計測器の開発を目指す。

○意見、要望等

(1) 業務に関する意見・要望等

特になし

(2) 監査委員事務局に対する要望等

特になし

